

# 平成23年度尚志館高等学校自己評価表

尚志館高等学校

学校教育基本方針	校訓『不屈不撓』の精神をバックボーンに、豊かな資質を養い、国や社会に貢献できる人間を育成する。
学校教育目標	志を常に高く持ち、自ら学ぶ態度を養う。よき友を作り、生きる力を身につけ、国や社会に貢献できる人間を育成する。
重点努力目標	①将来、役に立つ人材を目指す生徒指導。②尚志館に来てよかったと思われる進路指導。③勉強や部活動など、やりたいうことを思い切りやれる学校。

## 1 学校経営 全職員が共通の理念に立った学校経営の参画における教育的効果の評価

評価項目	具体項目	目 標	具体的方策	総括	成果と課題
学校教育目標と経営方針	学校教育目標の具現化	教職員間の共通理解のもとに、教育目標の実現を図る。	課題や生徒の実態をふまえた目標を設定し、具現化に努める。	3.3	習熟度に応じて、安易な目標設定でなく、「難しいかな」というくらいの高い目標を設定し、学力向上に努めた。創立40周年記念行事の実施にあたり、全職員の協力により、諸々の行事を無事終了できた。一方で、教員間の共通理解がまだ不十分なところがあるので、今後とも横のつながりを強化していきたい。低学年になるほど学習意欲の低さや、生活面の乱れを感じる。また、家庭環境の複雑な生徒も多いので情報交換を密に行いながら、本校独自の教育を実践していきたい。

## 2 教育活動全般における計画的、組織的な教育的成果の評価

評価項目	具体項目	目 標	具体的方策	総括	成果と課題
学級経営	学級目標の具現化	学級目標に沿った学級作りを行う	学校目標や学級実態に応じた学級経営・ホームルーム活動を行う。	3.4	入学してくる生徒達が、年々精神的に低年齢化してきていると感じるが、根気よく個々を伸ばすべくホームルーム活動を行った。また、高い志をもち、安易に妥協することなく、努力を継続するよう指導した。
教科指導	わかる授業展開と工夫改善	創意工夫された学習指導の実践	シラバスを作成し、学習目的や学習方法を生徒に説明する。	3.4	自分の一方的な思い込みで授業をして、満足した感がある。生徒側の視点に立った授業を工夫する必要がある。検定のある科目については進度に気を配ったが、学習習慣の確立していない生徒の指導に苦慮した。授業研究の不足を感じた。効果的な授業を行うためにはもっと積極的に研修・研究に取り組むことが必要である。研修の機会を設け積極的に参加し、生徒に還元したい。
			効果的な授業を行うために研究や研修を深める。		
特別活動	生徒会活動・学校行事の充実	生徒会活動の充実	生徒の自主性・自発性を促し、積極的に生徒会活動に参加させる。	3.4	地域のイベントの手伝いや街頭活動に積極的に取り組んだ。クラスマッチや文化祭など生徒の自主的な取り組みがなされている。生徒会役員を中心に生徒達が自主的に行事に取り組んでいた。ただ、文化祭の片づけは一部の生徒達だけになっていた、今後の課題である。生徒会長の選挙に複数の立候補者があり、生徒の自主性が以前より出てきていると感じる。
		学校行事の充実	効果的な学校行事になるよう、常に見直しを行い、活動内容を工夫する。		
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	生徒各自に尚志館生としての意識を持たせ、自信と誇りの持てる生徒に育てる。	基本的な生活の確立を図る 交通ルールの遵守など、安全教育の徹底	3.5	授業時間と休み時間の区別が不十分。始業時の礼・声もまだ不十分。交通違反や交通事故が多く、安全教育の徹底をさらに強化していく必要がある。規範意識の欠如している生徒が増えている。科の職員間での情報交換により個々の生徒の様子を全職員で把握できた。40周年記念式典など行事の時はしっかりできているが、普段の学校生活では不十分。全体集合などでもっと指導していきたい。
進路指導	進路指導の充実	系統的・計画的な進路指導	進路実現のために、個別指導や進路相談・三者面談などを計画的に行う。 生徒の能力や適性に応じた進学指導 生徒の能力や適性に応じた就職指導	3.3	センター試験など、大学入試の日程や方式が年によって変更になるので調査・研究が必要である。生徒・職員の進路指導室への出入りが増加しつつある。進路を意識した生活をする生徒が多くなるのはいいことである。進路指導室の充実を図り、生徒の学力・適性や希望に応じた進路指導を心掛けていきたい。特進科では宿題・課題の内容・量に苦痛を強いられる生徒が出てきており、工夫が必要。特進科入学減の一因とも考えられる。
保健衛生	心と身体の健康に留意させ学習環境を整える	保健指導	心と身体の健康を適切に管理する能力を育てる	3.5	精神的に不安定だった生徒について、カウンセラーの協力により卒業・進学まで導くことができた。防火震災訓練と校内消防設備点検など防火・防災に関する事項は予定通り実施できた。創立40周年記念行事があり準備が大変であったが、校内に多くの花も準備でき、成功理に終えることができた。健康管理が不十分な生徒も多い。毎日の朝食の摂取やうがい・手洗いの徹底などきめ細かな指導が必要である。
		体育指導	運動技能を高め、体力向上を図る		
		防火・防災	防災についての意識の高揚を図る		
		環境衛生	学習にふさわしい環境を整える		
広 報	広報	定員確保のための広報活動の推進	入学案内・パンフレットの作成	3.4	積極的な募集活動を展開していくために、検討を重ね、改善していくべきである。特に特進科の定員が確保できなかったことは検証の必要がある。全職員が募集活動に責任感をもって臨むために、ベテランのもつノウハウを若手に引き継いでいく態勢作りや、常に共通理解を図る必要がある。少子化の中、定員を確保できたのは地道な広報活動と日常の教育活動が中学生や保護者に伝わった成果である。全職員が広報の一員であるという意識を常に持つ必要がある、このことが次年度へつながる。
			中高連絡会・体験入学の実施		
			中学校訪問・学習塾訪問・説明会の実施		
			ホームページ・Eメールの管理		
			P T A・中学生の訪問受け入れ		
部活動	部活動の活性化	部活動への参加を奨励し、活発な活動を行う	部活動への積極的な参加を奨励し、学習との両立を図る 活動を通して、コミュニケーション力を高め、たくましい人間に育てる	3.3	最近、県大会で好成績を挙げているが、一部の心ない部員の問題行動があった。指導の徹底を図りたい。生活態度の確立はもちろん、学習面で努力不足の生徒もいるので学習習慣の確立にも気を配りたい。競技人口の減少で部員確保が厳しくなっている。もっと部活入部率を高めたい。
評 価				3.4	

